

第2回部門理事会・評議員会合同会議について



間会長挨拶の様子

11月30日、メルパルク大阪で平成27年度第2回部門理事会・評議員会合同会議を開催しました。

会議に先立ち実施された記者懇談会で、間会長が報道関係者を前に産業ガス部門、医療ガス部門共通の課題として電力、エネルギー問題や消費税増税への対応、保安の一層の強化・推進などについて述べ、続いて永江専務理事および篠塚常務理事よりそれぞれ産業

ガス部門、医療ガス部門の取り組みについての説明を行いました。

理事会・評議員会合同会議では、理事会が定数19名のうち16名、評議員会が産業ガス部門定数37名のうち30名、医療ガス部門定数48名のうち33名が出席しました。

間会長は冒頭の挨拶で、平成26年度は酸素・窒素・アルゴンの販売量が久しぶりに前期比増に転じたものの、依然としてピーク時の7～8割に留まることについて触れました。さらに、電力多消費産業として他の10団体とともにJIMGAがこれまで取り組んできた電力料金の問題について、「補助金等により多少の前進があった」としながらも「業界の負担増に対する効果は限定的。引き続き他団体等といかに協力していくかを検討したい」と意気込みを述べました。

その後、議長に選出された間会長の進行により審議が行われました。審議事項は「入会希望事業者審査の件」、「特定個人情報等の適正な取扱いに関する基本方針及び個人情報等取扱規程の制定の件」および「情報管理規程の一部改正の件」で、全会一致で承認されました。

報告事項では、委員会や部会の半年間の活動状況、中間収支報告、今後の主要日程等の説明を行いました。詳細は平成28年3月発行の「産業ガスレポート」に掲載の予定です。



会場の様子

(広報委員会事務局・石原 智子)

会員紹介 ー株式会社大阪パッケージガスセンターー

はじめに

最近の大阪といえばUSJ、グランフロント、ハルカス、エキスポシティ、爆買い等を連想される方も多いと思いますが、大阪の堺といえはいかがでしょう。中世より商業、鉄砲、包丁、自転車の町として栄え、今でこそ阪神工業地帯の中核であった高度成長期の勢いはないものの、「モノのはじまり、みな堺」という地元の言葉にもあるように、今もモノづくりの町として存在感を示しています。

沿革

昭和48年、その堺市に日本酸素株式会社（現大陽日酸株式会社）と日本通酸株式会社の共同出資の充填所として、近畿日酸株式会社が設立されました。この近畿日酸を母体とする株式会社大阪パッケージガスセンターは、その後新たに液化炭酸株式会社（現日本液炭株式会社）と株式会社旭ウエルデックスを出資メンバーに迎え、大陽日酸発足後の充填所統合の第1号として、酸素、窒素、アルゴン、炭酸および混合ガスを充填する「総合充填所」を平成18年10月にリニューアルオープンしました。

充填の能力は月間600千m³と関西最大級で、京阪神地区におけるパッケージガスビジネスの生産拠点としてその役割を担っております。

設備

当社は基本コンセプトとして、自動化設備の導入と省力化の実現、高度な保安および高品質の確保、さらに人と環境に優しい工場を掲げています。

具体的には次のような配慮をしています。①LGC充填では自動充填制御システムを採用し、作業の安全性を確保しております。②充填ポンプはガス毎に通常機と予備機の2台で構成し常に交代で運転することで、メンテナンス時や緊急停止時にも連続運転が可能となっています。③充



天井からの吊下げ型の充填架台

場内の充填架台は天井からの吊下げ型を採用し、見通しが良く効率的で安全性の高いフラットな床を確保しています。④作業効率と負担軽減のため、場内のシリンダーはパレットで搬送しています。⑤充填操作はタッチパネルでの対話方式で、作業毎に確認のメッセージに対する再確認の操作を行うことで誤操作防止を図っています。⑥品質管理においても充填システムと分析システムをリンクさせ、製品のトレーサビリティを確保しています。また充填、売上データの収集はハンディ型リーダーライターを使用しRFタグとバーコードのどちらにも対応しています。

保安と教育

無事故、無災害、コンプライアンスの遵守は当社にとっての存続基盤であり、JIMGAをはじめ、KHK、大阪府高圧ガス安全協会等の社外講習にも積極的に参加し、社員の知識のレベルアップを図っています。

また社内においても中央労働災害防止協会のKYT（危険予知訓練）活動を取り入れて、職場の安全に対する意識の向上を図っています。さらに高圧ガス設備に関する自主勉強会の定期開催等により専門知識の向上に励むとともに、公的資格取得にも全社を挙げて取り組んでいます。



構内は一方通行

JIMGAとの関わり

現在、近畿地域本部において産業ガス・医療ガス両部門の本部長を務めております。地域における生産・流通・消費・安全に関する諸問題、停滞容器回収、RFタグの推進に取り組むとともに、医療ガス部門においても草の根講習会を通じ事故防止を取引先医療関係者に周知する活動を継続しています。

今後とも行政および保安関係団体との連携を軸に、自主保安の啓発ならびに法令順守の意識の徹底を図ってまいります。

最後に

新大阪駅から当社の最寄駅の堺までは難波乗り換えで約30分の距離です。来阪の折には、ぜひ当社へお立ち寄りください。

(株式会社大阪パッケージガスセンター 代表取締役社長 神崎 昌久)



大阪パッケージガスセンター外観

第72回IOMAローマ総会

11月にイタリア・ローマのCavalieri Waldorf Astoriaホテルにて、第72回IOMAローマ総会が開催されました。ルネッサンスに代表される国らしく、ホテルの各所に絵画が展示されており、美術館と錯覚するほどでした。総会前夜には、ホテルからバスで20分程度離れたコロナ宮殿の大広間で、イタリアのIOMA会員会社による歓迎レセプションが開催されました。この宮殿には天井画、装飾品などの美術品が各部屋に飾られており、IOMA会員はレセプションの前にイタリアの芸術を鑑賞することができました。



グローバル委員会の活動を説明するSalzgeber委員長

総会は11月9日～10日の会期で行われました。まず参加者全員による自己紹介が行われ、続いてIOMA理事長のMesser氏が議長となり、事務局担当者による総会の定足数の確認と総会の成立宣言、会計担当者による会計報告が行われました。

初日午前の講演会は副議長が司会を務め、『イタリアの自然遺産団体の活動』と『デジタル情報が氾濫している現在でのコミュニケーションのあり方』の2演目でした。

その後、基準の国際統合化活動を支援・監督しているIOMAグローバル委員会のSalzgeber委員長より、①これまでに発行した統合化図書は52基準を数える、②これら発行された図書の改訂・維持にも重きを置くとともに新規図書は事故からの教訓を基にした業界ならびに従業員の安全の要となる分野に今後力を入れる、③ギャップ分析手法を新たに用い、発行した統合化図書（空気分離装置、アセチレン、特殊材料ガスの3分野）においてカバーしていない重要項目がないかを注視している、との活動方針ならびに進捗状況が報告され、最後に高圧ガスの安全のためにこれらの統合化図書を各会員で活用することが推奨されました。

同日夜にはIOMA President Banquetが催され、Messer理事長から2015年国際統合化功労賞がリンデグループのDavid Birch氏に贈呈されました。

2日目は最初にIHS Inc. (1959年Information Handling Servicesとして設立。現在、プロダクトライフサイクル、エネルギー、環境、セキュリティの4部門で構成された、世界中の政府機関から企業に情報や分析サービス等を提供するリーディングプロバイダー) のチーフエコノミスト Behravesh氏よりパネルディスカッションの基調テーマとなる『世界経済の概要ならびにエネルギー展望』について講演がありました。続いて産業ガス業界を代表して、メジャー3社（エア・



President Banquetの様子



パネルディスカッションの様子(左)と
総会の議事進行を行うMesser理事長(右)

リキード、リンデ、ブラックスエア)の専門家により欧州、中国、北米のエネルギーソースとその状況についてプレゼンテーションが行われた後、Behravesht氏と3社の講演者によるパネルディスカッションが行われました。

討論会終了後に再度Messer理事

長が登壇し、次期予算案の説明、新理事会メンバーの紹介とそれらの承認、来年の総会開催場所と日程が発表され、第72回IOMAローマ総会は無事閉幕しました。

総会終了日の夕方には、IOMA会員を対象としたバチカン美術館およびバチカン宮殿のシスティナ礼拝堂の見学会が開催され、芸術鑑賞を通じて会員同士の懇親を深める良い機会となりました。

次回、第73回IOMA総会は米国サンディエゴにて2016年10月23日～27日に開催の予定です。

(国際部会事務局・仲山一郎)



バチカン・システィナ礼拝堂のフレスコ画
『最後の審判』に見入るIOMA会員

新事務局員の紹介



名 前：栗橋 健治 (くりはし けんじ)

現住所：仙台市宮城野区

出身地：青森県

生年月：1957年 8月

略 歴：1976年 4月 旧日本酸素(株)入社

1979年 12月 旧日本酸素(株)八戸営業所

2012年 7月 (株)大平洋ガスセンター

2014年 7月 大陽日酸(株)東北支社

2016年 1月 JIMGA東北地域本部 事務局長

趣 味：初の単身赴任ですので、休みの日は掃除・洗濯が終わると余暇を生かして主にボールゲームのスポーツ観戦に明け暮れています。

たまにお誘いゴルフへ参戦しますが、いまだに100前後をウロウロしております。

抱 負：東北地域本部は、JIMGA業務の他に県高圧ガス保安協会・東北六県高圧ガス保安協議会・東北高圧ガス容器管理委員会等の受託業務もあり、各々の区分と全く違う業務に戸惑いを感じながら手さぐりの状態で業務を行っているところです。

一日でも早く会員皆様の顔と名前を一致させ、微力ながら皆様のお役に立つよう努力したいと思っております。